

2023年2月10日

関係各位

社会福祉法人 中心会
理事長 浦野 正男
相模原南児童ホーム
所長 曾我 幸央

相模原南児童ホームの
新型コロナウイルス感染事例について
(36の④)

既報(36、36の②、36の③)の続報をお知らせします。

昨9日(木)に検体(唾液)を採取した職員5名のPCR検査の結果は全5名ともに陰性が確認されました。

しかし、抗原定性検査では陰性であったものの、検体(唾液)採取が困難なためにPCR検査を行なうことができなかった児童(乳児)5名のうち、1名(以下、「児童G」といいます。)が本10日(金)に発熱、あらためての抗原定性検査の結果、陽性が確認されました。

これを受けて、児童Gからの伝播が懸念される児童(乳児)5名、職員5名、計10名にあらためて抗原定性検査を行なったところ、児童(乳児)1名(以下、「児童H」といいます。)の陽性が確認されました。

職員5名については、続けてPCR検査の検体(唾液)を採取し、検査機関へ送付しました。この検査結果が届きましたら、あらためてご報告します。

抗原定性検査で陰性の児童(乳児)4名については、検体(唾液)採取が困難なためPCR検査を行ないませんが、現時点では健康状態に特段の変調は見られません。

なお、本件感染事例(36、36の②、36の③、36の④)と別報の感染事例(34、34の②……34の⑥)とは区域が遮断されていることから、相互の干渉はないものと考えられます。

皆様には度々ご心配をおかけして申し訳なく存じますが、今後も感染防止に最善を尽くしますので、ご理解、ご協力をお願いします。